

令和 3 年度 佐賀整肢学園・かんざき日の限寮事業報告（総括）

佐賀整肢学園・かんざき日の限寮
施 設 長 大 島 毅

（総括）

令和 3 年度の事業計画に基づき、救護施設佐賀整肢学園・かんざき日の限寮（定員 70 名）の施設運営を行った。

事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、県内の感染状況を踏まえ、利用者の活動や業務内容等について、随時見直しを行った。また、事業継続計画（BCP）に基づく想定訓練を行い、内容の検証、周知徹底を図った。

関係機関と連携を密に取りながら、循環型施設として地域や他種別施設等への移行推進、自己実現に向けた各種サービスの充実に努めた。また、地域社会との連携、福祉人材の育成にも積極的に取り組んだ。

地域における公益的な取り組みとして、生活困窮者自立支援法に規定された就労訓練事業、生活困窮者の一時受入事業（独自事業）、生活困窮者に対する相談支援事業（独自事業）を実施した。

利用者の状況として、入所定員 70 名に対し、年間平均利用者は 76.9 名となり、定員に対する利用率は 110%で推移した。

令和 3 年度のかんざき日の限寮の決算は、経常増減差額 35,523 千円で前年の 31,071 千円に比べ、4,452 千円の増益となり、当期活動増減差額 35,047 千円、次期繰越活動増減差額 378,178 千円であった。積立金の総額 278,500 千円となり、純資産の合計は 1,011,492 千円で前年度より 22,170 千円の増となった。

1. 施設設備の整備

（1）機器整備関係

- ・パソコン 1 台（159 千円）を購入した。
- ・農作業、屋外環境整備用として、自走式草刈り機（230 千円）、耕運機（247 千円）を購入した。
- ・屋外作業場用として、オーニング（可動式庇～473 千円）、物置（187 千円）を整備した。
- ・厨房用冷蔵庫の老朽化のため、入れ替え（1 台購入～402 千円）を行った。

2. その他

- ・8月の集中豪雨に伴い、災害時支援として、特別養護老人ホームかんざき清流苑入所者等 69 名を 8 月 13 日から 3 日間、地域の高齢者 3 名を 8 月 14 日から 2 日間の受入を行った。

- ・生活困窮者の資格取得等を目的とした介護職員初任者研修が、佐賀県主催のモデル事業として開催された。利用者 5 名が受講され、引率・学習支援を行い、全員、修了試験に合格された。また、研修会の講師として清流苑・日の隈寮より職員を派遣し、開催を協力した。